



# フォーサイド グループ 2021年12月期第2四半期 決算説明資料

補足説明資料



# 2021年12月期第2四半期 連結業績ハイライト

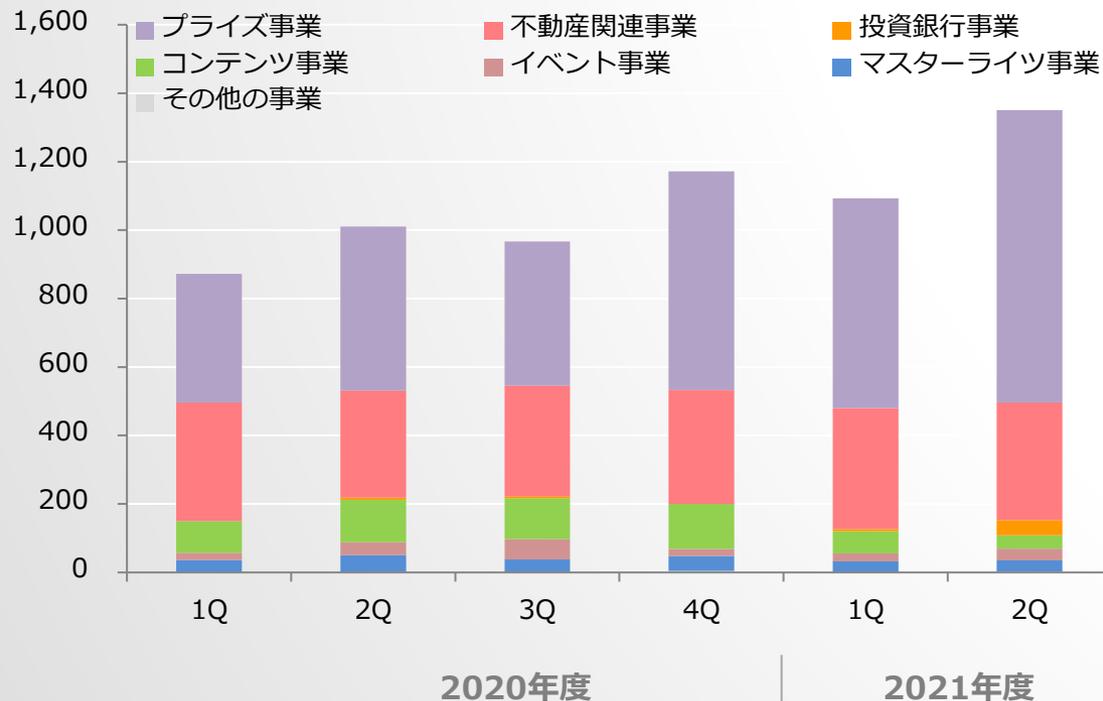
(単位：百万円)

|                      | 2020年度<br>第2四半期 | 2021年度<br>第2四半期 | 前年比    | 主な増減要因・傾向  |
|----------------------|-----------------|-----------------|--------|--|
| 営業収益                 | 1,889           | 2,452           | 129.8% | <p>2021年12月期第2四半期の営業収益は、当社グループの柱であるプライズ事業が好調に推移し、不動産関連事業も底堅く堅調に推移したことで、営業収益は前年比129.8%と大幅な増収となった。</p> <p>利益においては、営業収益の大幅な増加にくわえ、売上連動原価の抑制、不動産関連事業における貸倒引当金繰入額の減少等による販管費の減少により、グループ全体の営業利益は141百万円となった。</p> <p>また、新株予約権戻入益、事業譲渡益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、164百万円と大幅な増益となり、2四半期続けての黒字を達成。</p> |
| 売上総利益                | 831             | 967             | 116.4% |  |
| 販売管理費                | 928             | 826             | 89.0%  |  |
| 営業利益                 | △97             | 141             | —      |  |
| 経常利益                 | △51             | 142             | —      |  |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | △346            | 164             | —      |  |

好調なプライズ事業、堅調な不動産関連事業が連結業績に大きく寄与  
営業利益、四半期純利益ともに第1四半期を超える大幅な黒字を達成

# 営業収益の成長推移

(単位：百万円)



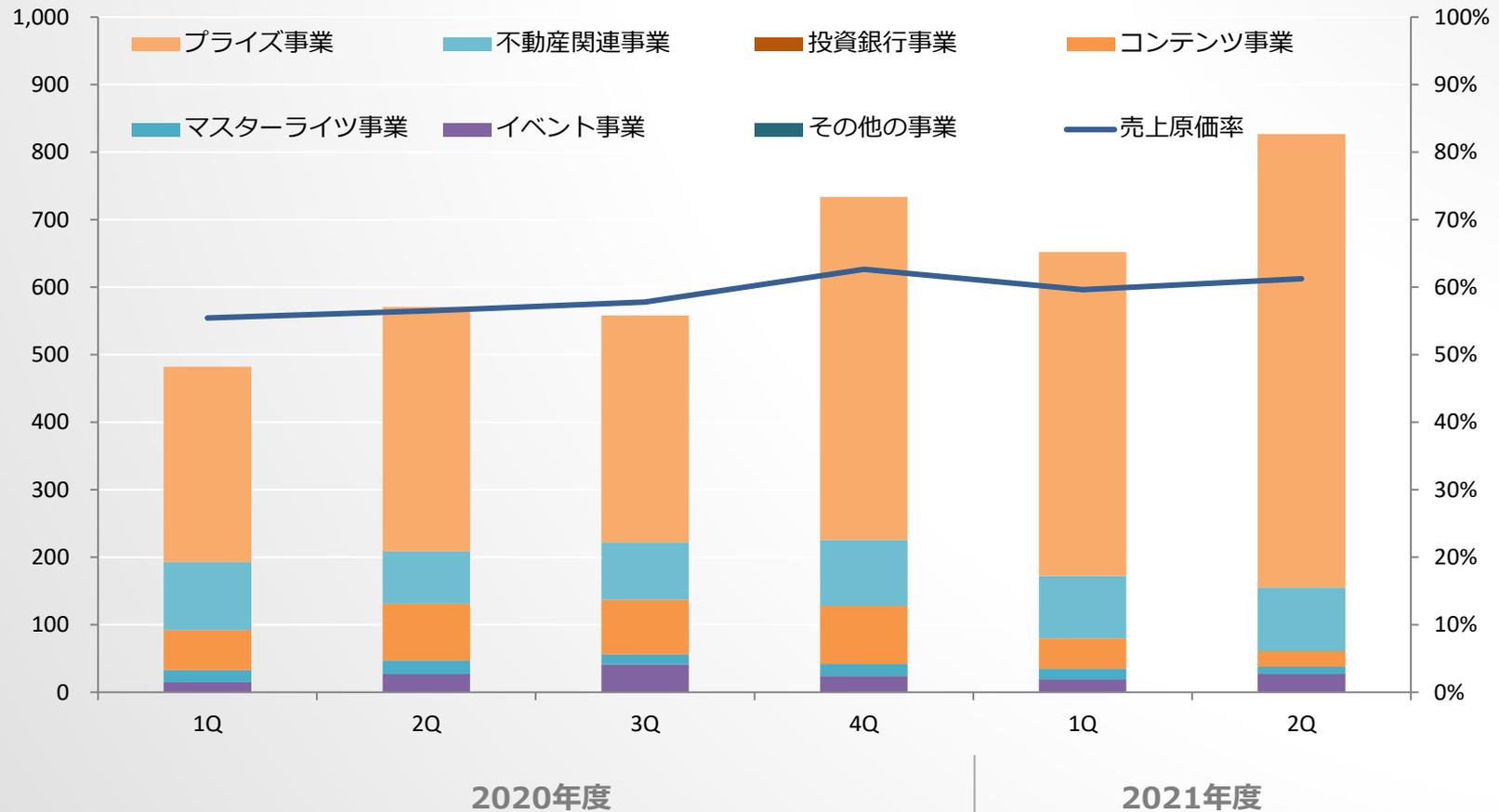
プライズ事業が引き続き好調を維持  
グループ全体でも前第2四半期に比べ  
29.8%の増収を達成

## セグメント別の主な増減要因

|                    |   |
|--------------------|---|
| <b>プライズ事業</b>      | プライズ事業では、引き続き人気キャラクター商品を多く取り扱う等、売上高、セグメント利益ともに、大幅な増収増益を達成。  |
| <b>不動産関連事業</b>     | 不動産関連事業では、民法改正による家賃保証の需要増加が継続し、新規契約者数は堅調に推移。また、与信審査及び債権管理業務の強化と業務の効率化にも取り組み、管理回収部門では、公的支援制度の案内を行う等、状況に応じた顧客管理に努めたことで、貸倒引当金繰入額は大幅に減少し、セグメント利益を確保。                                |
| <b>投資銀行事業</b>      | 投資銀行事業では、案件の成約件数は伸び悩んだものの、1件あたりの成約金額が増加する等、収益性の向上に取り組んだ結果、セグメント利益を確保。   |
| <b>コンテンツ事業</b>     | コンテンツ事業では、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、厳格な採算管理の下で広告宣伝投資を行い、費用対効果の高いプロモーション施策を継続して実施。映像制作事業においては、2021年1月31日付けで事業譲渡が完了し、本事業から撤退。電子書籍事業単体では、セグメント利益を確保。                                    |
| <b>マスターライセンス事業</b> | マスターライセンス事業では、ライブハウスでのライブ出演を再開することができたものの、引き続き状況を注視する必要がある。出版事業においては、Cuugalにおいて、Youtubeを使用した読者参加型の表紙争奪戦の展開やCuugalモデルがプロデュースするアパレルブランドを展開する等、誌面と連動した企画の充実を図るも、セグメント利益の確保までには至らず。 |
| <b>イベント事業</b>      | イベント事業では、緩やかな回復の兆しが見られた半面、緊急事態宣言が発出されたことをうけ、イベントの延期や人数を制限した状態での開催が余儀なくされたことから、セグメント利益の確保に至らず。   |
| <b>その他の事業</b>      | 金融事業での貸付金の回収にくわえ、(株)フォーサイドでのコンサルティング案件の成約により、セグメント利益を確保。  |

# 原価の推移

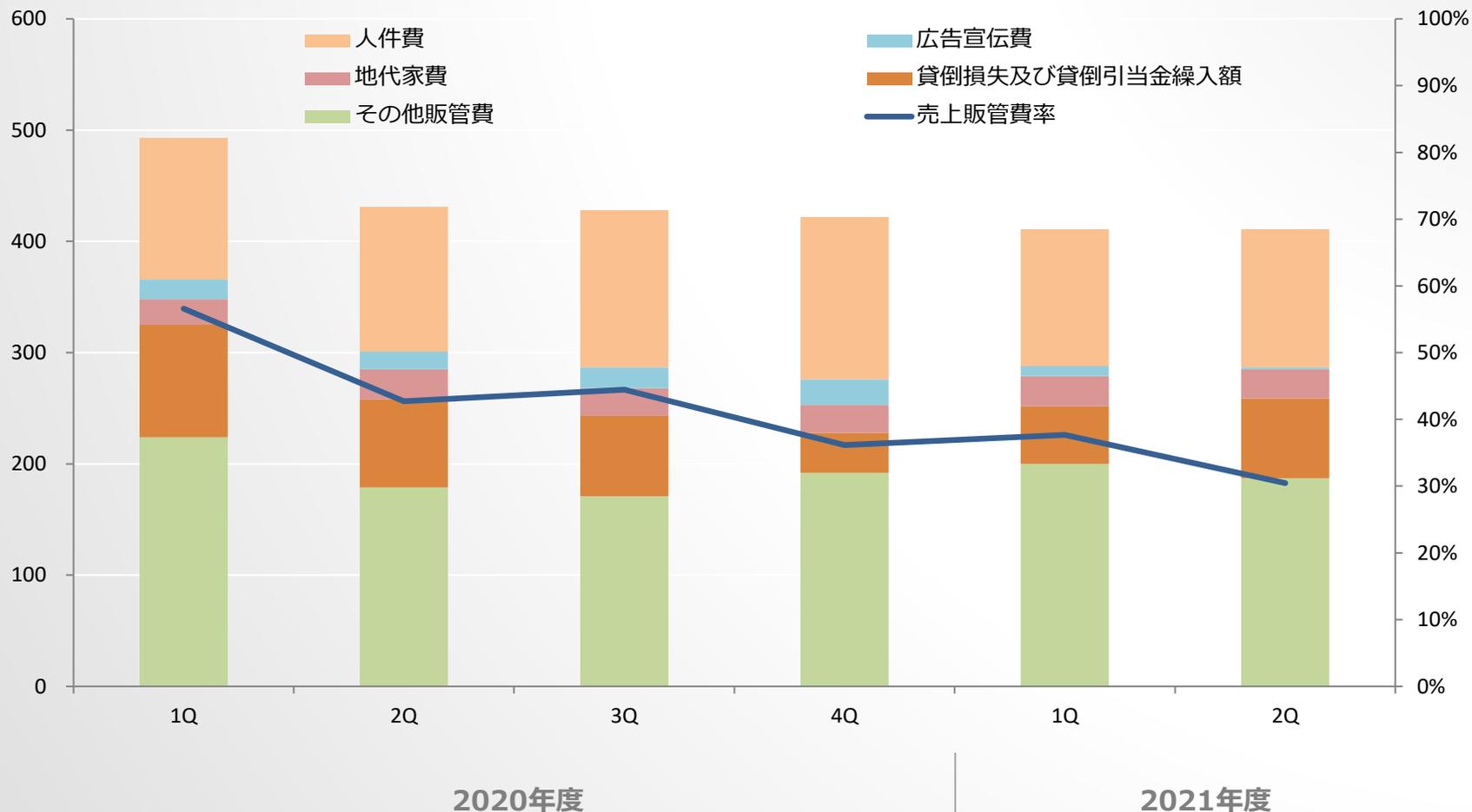
(単位：百万円)



営業収益の増加に伴い、連動する原価も増加したものの、  
継続してコストコントロールの徹底に努める

# 販売管理費の推移

(単位：百万円)



コロナ禍を機に、これまで以上に経費の削減を実施したことで、  
売上販管比率は大幅な減少に転じる

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

|     | 2020年度<br>12月期 | 2021年度<br>第2四半期 | 増減金額 | 主な増減要因・傾向  |
|-----|----------------|-----------------|------|--|
| 資産  | 3,841          | 4,321           | 479  | 資産については、受取手形及び売掛金の97百万円、商品の増加103百万円及び投資有価証券の増加125百万円等により、前連結会計年度末に比べ479百万円の増加となった。 |
| 負債  | 2,746          | 3,082           | 335  | 負債については、支払手形及び買掛金の増加106百万円及び短期借入金の増加185百万円等により、前連結会計年度末に比べ335百万円の増加となった。           |
| 純資産 | 1,095          | 1,239           | 143  | 純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益164百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ143百万円の増加となった。               |

(注) 2021年3月25日開催の定時株主総会の決議に基づき、2021年5月14日付けで減資の効力が発生し、資本金が1,332百万円、資本準備金が1,328百万円減少しております。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が100百万円となっております。

第1四半期を超える四半期純利益の計上により、純資産が大幅に増加



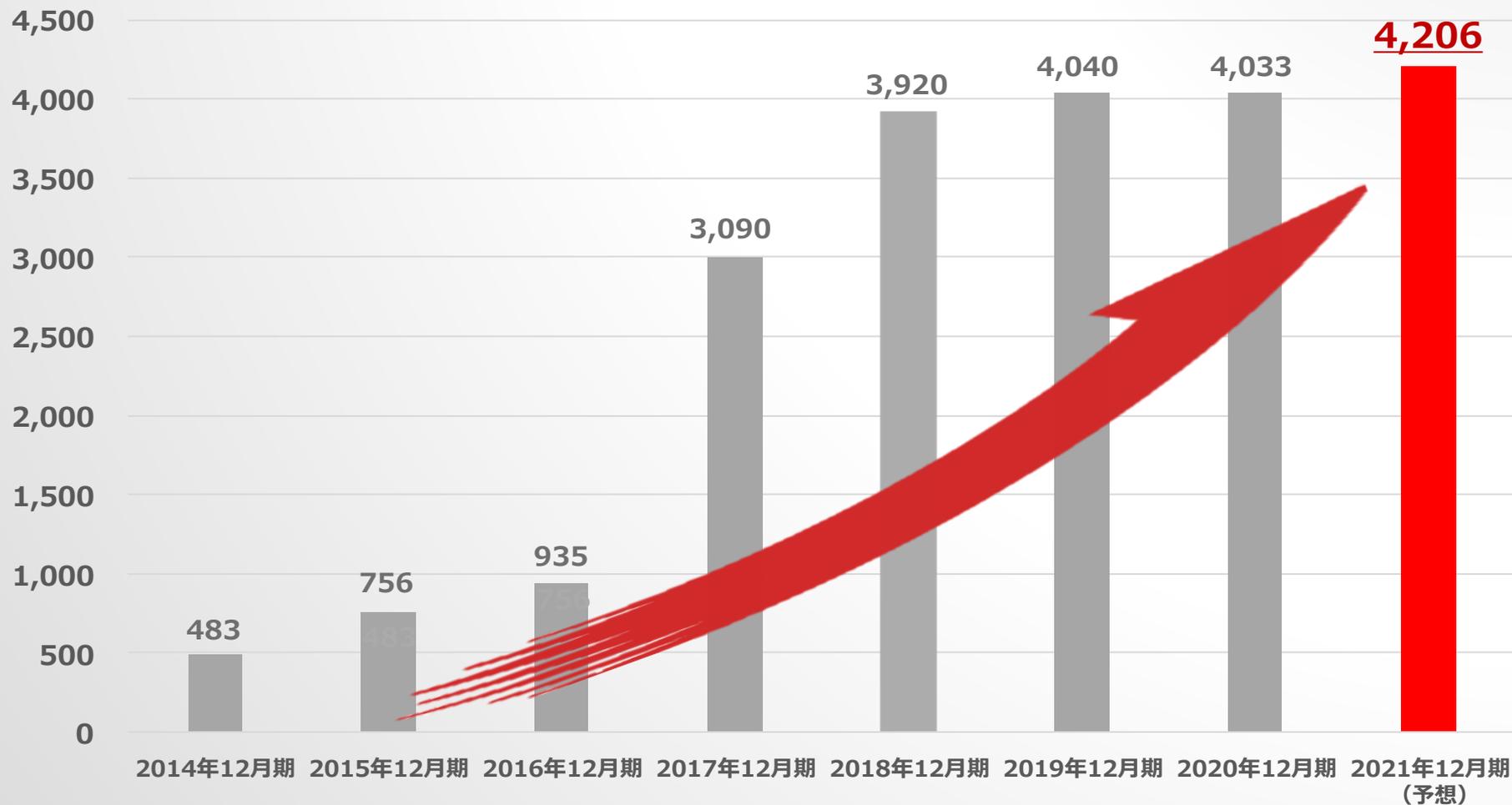
## 2021年12月期の業績見通し

# 連結営業収益（通期予想）

## 連結営業収益 4 2億6百万円

（前年比4.2%増）

（単位：百万円）



# 連結営業利益（通期予想）



# 2021年12月期の業績見通し

2021年12月期の連結業績予想につきましては、「2020年12月期決算短信」における通期の業績予測から変更しておりませんが、当第2四半期連結累計期間の業績は、利益面において通期の連結業績予想を上回る水準で推移しております。

今後、新たに取得した「Popteen」事業を含む業績動向や他要因も含めて通期の連結業績予想を精査し、修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。



## 参考資料（グループ概要）

# フォーサイドグループ概要

会社名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所在地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設立日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資本金

100,000,000円 (2021年5月14日現在)

経営陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔  
常務取締役 吉田 生喜 取締役 濱田卓二郎  
監査等委員 法木 右近 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛

顧問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事業

・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業、出版事業
- ※旧(株)モビぶっく (2021年7月21日付けで商号変更)
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。